■ＦＡＱ　（よくある質問）をまとめたものです

部活動と地域展開

Q1　将来的に学校の部活動はなくなりますか？

野々市市では、令和 11 年度をもって中学校部活動を終了します。
令和 12 年度からは認定地域クラブ活動による地域展開となります。

認定地域クラブ活動って？　＊以下、「認定地域クラブ活動」を「認定クラブ」と記載します。

Q2　認定クラブとはどんなクラブですか？

全ての中学生が希望に応じてスポーツ・芸術文化活動に参加できるよう、中学生を対象とした定期的な活動を提供する地域団体等のうち、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させ、活動機会を広く提供することを目的とした認定クラブです。
一定の要件を満たし、認定を受けた認定クラブは、野々市市における部活動地域展開の趣旨を理解し、学校や市教育委員会と協力して活動します。

Q3　認定クラブ活動はどこで行いますか？

市内全域を対象として、市内小中学校や市内公共施設等で活動します。活動準備ができた休日の地域展開はその都度おしらせします。認定クラブの詳細及び参加方法は、令和 11 年 9 月までに改めて御案内の予定です。

Q4　活動場所への移動はどのように行いますか？

徒歩や自転車、コミュニティバス“のっティ”や、シャトルバス“のんキー”での移動を想定していますが、生徒の希望する活動の実施場所が所属校以外となる場合は、保護者の送迎が必要になることがあります。

Q5　認定クラブの活動場所になっている学校の生徒と、他の学校の生徒が不平等になりませんか？

認定クラブは市内全域の生徒を対象にしています。認定クラブによっては単独校を対象としたり、両校を対象としたり、競技によっては複数の認定クラブが発足し、その中で希望する認定クラブに所属することも考えられます。

Q6　認定クラブでは、他校の生徒と合同で練習を行うことになりますか？

認定クラブによっては学校単位の活動ではなくなるため、他校の生徒と一緒に活動する可能性があります。

認定地域クラブ活動への加入

Q7　認定クラブに必ず加入しなければなりませんか？

認定クラブへの加入は任意です。
現在所属しているクラブチームや関係団体、習い事などを継続することも尊重いたします。

Q8　認定クラブの種目は、今入っている部活動の種目にする必要がありますか？

今入っている部活動にこだわらず、生徒の希望する認定クラブに加入することができます。

Q9　１人で複数の認定クラブに加入することはできますか？

認定クラブへの加入数に制限はありませんが、適切な休養を設け、過度な活動にならないよう配慮が必要です。

Q10　認定クラブは途中でやめられますか？

各認定クラブの規定に従い、途中で退会することは可能です。

認定地域クラブ活動の費用

Q11　認定クラブの費用負担は、どれくらいになりますか？

認定クラブの持続的な運営のため、指導料や運営費用の他、保険加入や各種登録費用等の実費など、保護者の皆様には費用負担をお願いすることになります。具体的な金額については、各種目によって異なります。

なお、認定クラブの費用負担の目安については、国(文化庁、スポーツ庁)では、保険や用具等の実費を除き、月 4 回程度の活動で月額 1,000～3,000 円としていますが、種目特性や実施体制等により、多様な設定があり得るとしています。

教員の認定地域クラブ活動への関わり

Q12　令和 12 年度からは教員が部活動に関わらなくなるって本当ですか？

令和 11 年度をもって部活動は終了しますが、教員の希望があれば所定の手続きを経ることで認定クラブに関わることができます。休日の部活動地域展開についても、教員の希望があれば所定の手続きを経ることで関わることができます。

部活動指導員の任用や認定クラブへの展開等により、教員として休日の部活動指導に従事することを縮小していきます。

　＊所定の手続きを経ること＝兼職兼業に関する手続き

Q13　認定クラブに学校の先生は全く関わらないのでしょうか？

平日に部活動が存続し、休日に認定クラブで活動する生徒がいる場合は、必要な連絡調整等で関わる場合はありますが、認定クラブの運営や指導に、教員の立場で関わることはありません。

ただし、認定クラブへの関わりを教員が希望する場合には、所定の手続きを経ることで、認定クラブの指導者として従事することができます。

＊所定の手続きを経ること＝兼職兼業に関する手続き

大会参加や長期休業時の対応

Q14　大会には部活動と認定クラブのどちらから出場することになりますか？

中学生が参加できる大会には、いくつかの種類があり、大会ごとに出場要件が異なるため、部活動として出場する場合もあれば、認定クラブとして参加する場合もあります。部活動がベースとなっている活動時は部活動として出場します。認定クラブが完全実施された場合は認定クラブとして出場します。

主な大会の区分は次のとおりです。

中学校体育連盟が主催する大会

中学校体育連盟(中体連)が主催する大会で、いわゆる「加賀地区」「県体」「白野新人」などがこれにあたります。参加要件については大会要項等によって異なりますので、詳しくは石川県中学校体育連盟のホームページ等をご確認ください。

現状、中体連の大会運営は教員が主に行っているため、今後はその在り方が変わっていく可能性があります。

競技団体やクラブチーム等の大会

各競技の連盟や協会が主催する大会で、認定クラブ、スポーツ少年団、その他の一般的なクラブチームなどが大会要項の参加資格等に基づいて出場します。

中学生が参加できる大会にはさまざまな種類があります。学校の部活動だけでなく、一般的なクラブチーム等でも活躍の場が広がっています。

部活動と認定クラブの区分

	平日	土日	大会参加(引率)	指導者	備考
a	部活動	部活動	部活動(教員)	教員	
b	部活動	認定ク	部活動(教員)	教員＆ク指	R8 後半
c	認定ク	認定ク	認定ク(ク指)	ク指	R9(暫定)、R11(正式)

＊教員には部活動指導員を含む

＊認定ク＝認定クラブ

＊ク指＝認定クラブ指導者（兼職兼業の教員を含む）

Q15　地域展開後、中体連の運営はどうなりますか？

現在、中体連は中学校の教員によって運営されています。

認定クラブが中体連の大会に参加する場合には、認定クラブも運営に携わりますが、国では、その運営の多くを中学校の教員が担っていることから、将来的に組織の廃止も含め、大会運営の在り方について検討しています。

Q16　練習試合はどのように組めばよいですか？

部活動ベースの活動時は今まで同様に部活動として行いますが、部活動から認定クラブによる地域展開は認定クラブ同士で連絡、調整を行っていただきます。

Q17　夏休みなどの長期休業日の扱いはどうなりますか？

長期休業日中も学校開校時（通常授業の学期中）と同様のスケジュールで活動を行います。ただし、認定クラブと学校が調整し、スケジュール変更をすることもあります。

活動中の事故や保険

Q18　認定クラブの活動中に事故が起きたらだれが責任を持つのでしょうか？

事故の内容によりますが、原則、認定クラブが安全管理の責任を担います。

Q19　保険の加入はどうすればよいですか？

認定クラブでは、指導者及び活動に関わる全ての者が自身の怪我等を補償する保険や個人賠償責任保険に加入することとしています。保険適用の範囲については、クラブ活動中だけでなく、活動場所へ移動中の事故等にも適用される内容のものです。

認定クラブと学校の連携

Q20　認定クラブと学校は、どのような連携が必要ですか？

生徒の活動状況や活動スケジュールなど、さまざまな情報共有が必要です。また、認定クラブの指導者にも学校教育の理念や生徒理解を共有し、教育的な視点を持った指導が求められます。

Q21　認定クラブに参加しない生徒は、通知表などに影響がありますか？

認定クラブに参加しなかったことで、学校の成績評価に影響はありません。

Q22　高校に入学するために、認定クラブ活動の実績は評価されますか？

国の方針では、「学校部活動と認定クラブ活動で、高等学校入学者選抜における取扱いに差異が生じることのないよう十分に留意すること。」と定められています。

活動時間の指針

Q23　もっとたくさん練習したいです！　市の方針よりも多く活動してもいいですか？

「学校部活動及び新たな認定クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（令和 4 年 12 月スポーツ庁・文化庁）」においては、1 日の活動時間は、長くとも平日では 2 時間程度、学校の休業日（学期中の週末を含む）は 3 時間程度とし、できるだけ短時間に合理的でかつ効率的・効果的な活動を行うことが推奨されており、野々市市でも各学校で部活動の活動時間の指針を定めています。

〈なぜ活動制限するの？〉

「スポーツ医・科学の観点からのジュニア期におけるスポーツ活動時間について」（平成 29 年 12 月 18 日公益財団法人日本体育協会）では、「行き過ぎたスポーツ活動を行うことは、スポーツ外傷・障害やバーンアウト（燃え尽き症候群）のリスクが高まり、体力・運動能力の向上につながらず、具体的には、休養日を少なくとも 1 週間に 1～2 日設けること、さらに、週当たりの活動時間における上限は、16 時間未満とすることが望ましい」とされています。

これらのことを理解し、大会等の前であっても、過度な練習や練習試合等を計画せず、心身の健康を保持するためにできるだけ短時間で合理的かつ効率的・効果的な活動となるように努めてください。

部活動地域展開と地域の連携

Q24　部活動地域展開による地域住民へのメリットはありますか？

子どもたちのスポーツや芸術文化の活動を学校と地域が一体となって支えていくことで、地域人材の活躍や地域コミュニティのつながりが深まります。